

被災者支援活動ニュース

“ボランティアに参加したい、という29歳の青年も参加し 3回目の被災者「訪問・聴きとり」活動が行われる

11月25日、三回目となる、被災者「訪問・聴きとり」ボランティア活動がおこなわれました。この日、「参加したい」と電話をしてきた29歳の青年も参加。午前、午後それぞれ2組が行動し、23軒訪問。この日も、被災者の切実な声がたくさんよせられました。

この日参加した青年の感想と、アンケートによせられた被災者の声を紹介します。



【青年の感想】

円谷地区（倉吉市）を10軒くらい回った。最初に入ったオタクの方が、「役所は何も見に来てくれない」と怒っていらっしゃったのが印象的だった。ドアが開かなくなっていたり、階段が傾いていたり、ヒビが入っていたりとひどい状況。生活保護で、お金も厳しいから直すことができないしと、おっしゃっていた。話しかければ話してくれる様子で、積極的に話してくださった。とにかく中を見てほしいという方が多かったので早く行政にはたらきかける必要がある。

【この日のアンケートから被災者の声】

◆てっぺんの瓦が落ちて2階のベランダに落ちたままで、り災証明書を待っていたら、瓦を撤去してくれるボランティアがいなくなって困っている。

◆地震があってから、不安や恐怖があり、パジャマを着て寝られない。精神的に困っている。市に電話しても誰もこない。ボランティア（センター）に電話しても連絡もない。

◆屋根は雨漏りと水漏れ。クロスのはりかえは50万以上。天井と壁の間にすきま。

◆屋根は夫と息子でブルーシートした。壁が落ち、土台にひびわれ。屋根はなかなかおしてもらえない。土台にヒビが入っている。外装のタイルが浮いている。

◆クロスにヒビ。天井があがって断熱材がみえる。瓦は60～70万円かかる。小学校の5000円の給食がなくなって大変。

◆板がはずれた。基礎にヒビ。屋根は土壁でやっていたが、一箇所こわれると全部やられる。仏壇の位牌がこわれた。何百万円もかかるのに、30万円とは！ゴミ捨て場が20日で（閉鎖）。どうしろと！屋根の瓦など出しやすくしてほしい。

◆屋根は全部なおす。風呂に入れない。窓が動かなくなる。雨がふきこむ。

◆ブルーシートは自分でした。地震のたびに内がくずれそう。奥さんは、地震がくるたびに眠れない。

◆ブロックが倒れそう。どうすればいいか。

